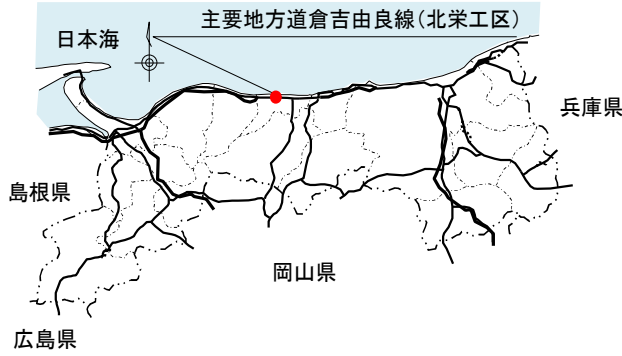


再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：高松 諭

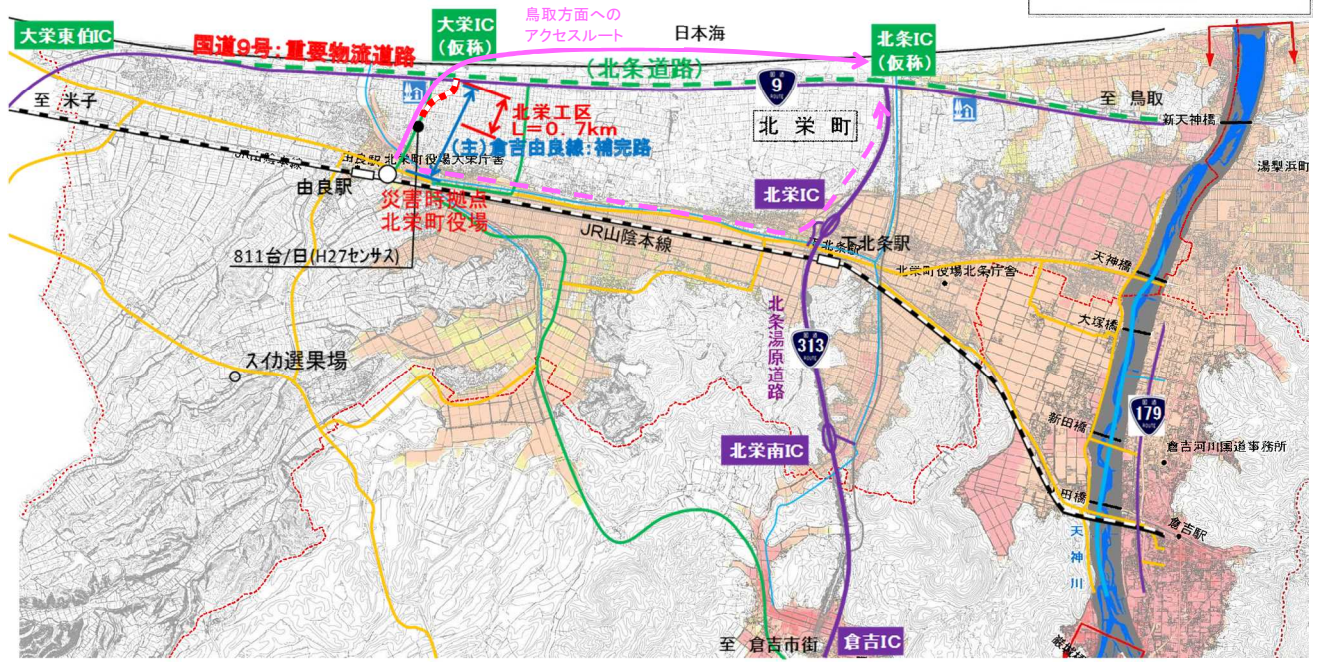
事業名	高規格ICアクセス 主要地方道 倉吉由良線（北栄工区）	事業区分	地方道	事業主体	鳥取県																							
起終点	自：鳥取県東伯郡北栄町由良宿 至：鳥取県東伯郡北栄町西園			延長	0.7km																							
事業概要																												
<p>「主要地方道倉吉由良線」は、倉吉市内の国道313号を起点とし北栄町内の国道9号に接続する延長10.7kmの幹線道路である。</p> <p>当該区間の整備により、平成29年度に事業化された高規格幹線道路 山陰道「北条道路」の大栄IC(仮称)へと接続することで、高速交通網へのアクセスが向上し、当該地域の物流及び人流の活性化に寄与するものである。</p>																												
R3年度事業化	-		R3年度用地着手	R4年度工事着手																								
全体事業費	約5.5億円	事業進捗率	約39%	供用済延長	- km																							
計画交通量	1,800台/日																											
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C</td> <td style="width: 50%;">(事業全体) 1.1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(残事業) 1.6</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.1		(残事業) 1.6	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総費用</td> <td style="width: 50%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3.5/5.3億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>3.0/4.9億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>0.45/0.45億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)		3.5/5.3億円	事業費	3.0/4.9億円	維持管理費	0.45/0.45億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益</td> <td style="width: 50%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5.6/5.6億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>4.7/4.7億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>0.36/0.36億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>0.49/0.49億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)		5.6/5.6億円	走行時間短縮便益	4.7/4.7億円	走行経費減少便益	0.36/0.36億円	交通事故減少便益	0.49/0.49億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">基準年</td> <td style="width: 50%;">令和4年</td> </tr> </table>	基準年	令和4年
B/C	(事業全体) 1.1																											
	(残事業) 1.6																											
総費用	(残事業)/(事業全体)																											
	3.5/5.3億円																											
事業費	3.0/4.9億円																											
維持管理費	0.45/0.45億円																											
総便益	(残事業)/(事業全体)																											
	5.6/5.6億円																											
走行時間短縮便益	4.7/4.7億円																											
走行経費減少便益	0.36/0.36億円																											
交通事故減少便益	0.49/0.49億円																											
基準年	令和4年																											
感度分析の結果																												
<p>(事業全体) 交通量：B/C=0.95~1.2（交通量±10%） (残事業) 交通量：B/C=1.5~1.8（交通量±10%）</p> <p>事業費：B/C=0.99~1.1（事業費±10%） 事業費：B/C=1.5~1.8（事業費±10%）</p> <p>事業期間：B/C=1.01~1.1（事業期間±20%） 事業期間：B/C=1.6~1.7（事業期間±20%）</p>																												
事業の効果等																												
<ul style="list-style-type: none"> ・高規格幹線道路 山陰道「北条道路」の大栄IC(仮称)へ接続することで、高速交通網へのアクセス向上 ・災害時拠点の北栄町役場と山陰道「北条道路」を接続することによる防災機能の強化 ・山陰道「北条道路」からの青山剛昌ふるさと館等の主要観光施設への周遊性向上 																												
関係する地方公共団体等の意見																												
<ul style="list-style-type: none"> ・行政、経済・商業、文化、住民等により構成される『県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会』の交通アクセス部会において、観光資源のネットワーク強化の観点から「道の駅大栄」や「青山剛昌ふるさと館」と県立美術館とのアクセスルートに位置づけられている。 ・鳥取県町村会や鳥取県中部地区行政振興協議会から、本事業の早期整備の要望活動が行われている。 ・山陰道「北条道路」の開通時期が公表されたことから、大栄IC(仮称)へのアクセスとなる当事業においても、山陰道「北条道路」と一体的な開通を目指した早期整備の期待が高まっている。 																												
事業評価監視委員会の意見																												
事業継続を妥当と認める。																												
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等																												
周辺環境等に特に変化はない。																												
事業の進捗状況、残事業の内容等																												
用地取得率0%、事業進捗率約39%																												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等																												
残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、改良工事を推進していく。																												
施設の構造や工法の変更等																												
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。																												
対応方針	事業継続																											
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。																											

事業概要図



凡例	
開通済	——
事業中	■■■■

凡例	
浸水した場合に想定される水深 (ランク別)	
	10.0m～20.0m未満の区域
	5.0m～10.0m未満の区域
	3.0m～5.0m未満の区域
	0.5m～3.0m未満の区域
	0.5m未満の区域
	市町境界
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる洪水争奪河川および水位周知河川



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。